

## 第4章 京田辺市の公共交通が目指す方向性

### 1 将来の交通体系づくりの基本理念・基本方針

本市の特徴や抱える交通課題、目指す将来のまちの姿を踏まえ、本計画の基本理念と基本方針を次のように定め、戦略的に交通施策を進めます。

#### 上位・関連計画における交通政策の方向

- ◇京田辺市都市計画マスタープラン2.0  
(目標とする将来の都市像)  
『緑豊かで健康な文化田園都市』  
(将来の都市構造)  
京田辺市型集約都市構造(クラスターイン  
クラスター都市構造)
- ◇京田辺市立地適正化計画  
(まちづくりの基本的な考え方)  
拠点ごとの特性に応じた機能の充実・強化  
を通じた市街地の更新と新たな魅力の創出  
による「暮らし」の質を高めるまちづくり

#### 京田辺市の地域公共交通の課題

- 課題1：誰もが移動に困らない  
地域公共交通の確保
- 課題2：公共交通を維持する仕組みづくり
- 課題3：利用者数の回復・拡大
- 課題4：公共交通が選択される環境づくり

#### 京田辺市の地域公共交通に求められる役割

優先度

- ①市民の生活を支える役割  
・市民が通勤通学、買い物や通院などの移動において、確実に移動できる環境を提供します。
- ②まちづくりに寄与し、賑わいを創出する役割  
・まちづくりと連携し、地域の活力創出を支援します。
- ③外出を促進し、ひいては健康増進に資する役割  
・行きたいところに自由に行けることで、日常の外出機会を創出します。
- ④市内外の交流を促進する役割  
・来街者を含めた全ての人の移動を支えます。

目指す姿(理念)

### 暮らしに必要な移動を支える持続可能な地域公共交通の実現

これまで本市では、既存の公共交通の維持に注力してきたところですが、社会情勢の急激な変化、バス事業者の経営環境の悪化や運転士不足といった本市を取り巻く環境の変化が著しくなっており、これまで通りの「バス路線の維持」が困難となってきました。

そのため、本計画では、これまでの方針からの転換を図り、市民生活を維持することに重きをおきながら策定することとしています。

## 目指す姿（理念）を達成するための基本方針

### 基本方針1 必要な移動を可能にする公共交通サービスの継続的な提供を目指す

移動制約者の日常生活に必要な移動手段として、可能な限り公共交通サービスの維持・確保を目指します。ドライバー不足に対応したバス運行の効率化や、交通事業者のドライバー確保、経営環境の改善に向けた取り組みを進めます。

### 基本方針2 既存の公共交通と新たな公共交通システムを組み合わせた地域公共交通体系の構築を目指す

既存の公共交通だけでは、将来的に市内の移動サービスの維持・確保が困難になることが想定されることから、新たな交通システムの導入も見据えながら、交通事業者と行政が一体となった取り組みを進めます。

### 基本方針3 実効性のある利用促進策の推進により、利用者数の増加を目指す

利用しやすい交通環境を整えることで利用を促進し、収益の向上を目指します。公共交通を快適に利用できることや、利用に迷わない環境づくりに努めます。

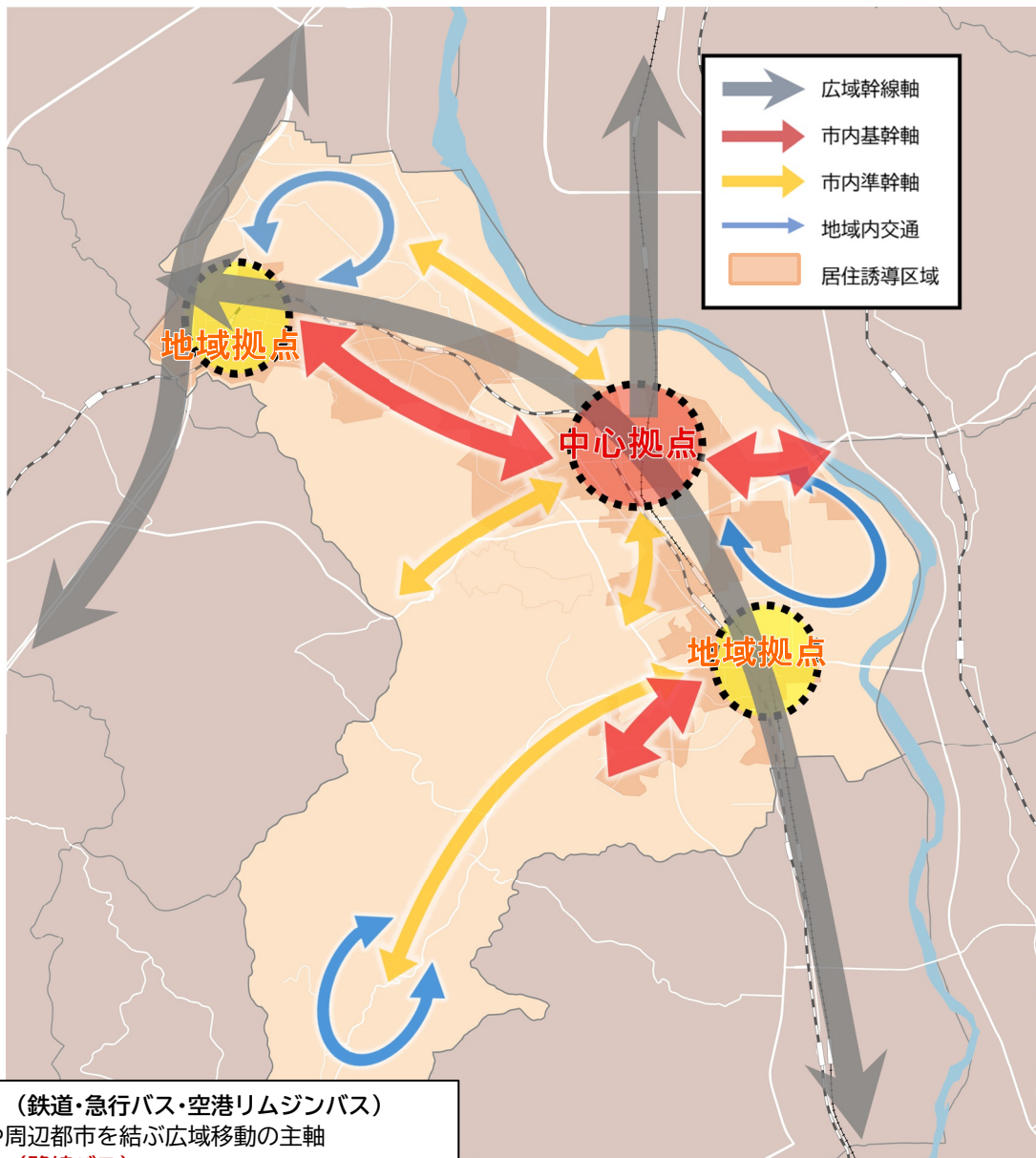
### 基本方針4 公共交通に対する意識の醸成を図り、みんなで支える地域公共交通の実現を目指す

公共交通をより身近なものに感じてもらい、利用に対するハードルを下げることで利用促進を図ります。バスに触れることができるイベントの実施や、乗り方教室など、こどもの頃から公共交通を身近なものとして認識してもらうことで、意識の変容を図ります。

## 2 京田辺市の将来の交通体系

### 2.1 将来の交通体系

本市の公共交通が目指す将来交通体系の姿は以下のとおりです。鉄道を広域幹線軸とし、市内の主要拠点や居住誘導区域をカバーする市内幹線軸として路線バスを位置付けます。それらをバス・タクシー・その他交通手段で補完し、市内の移動手段を確保します。

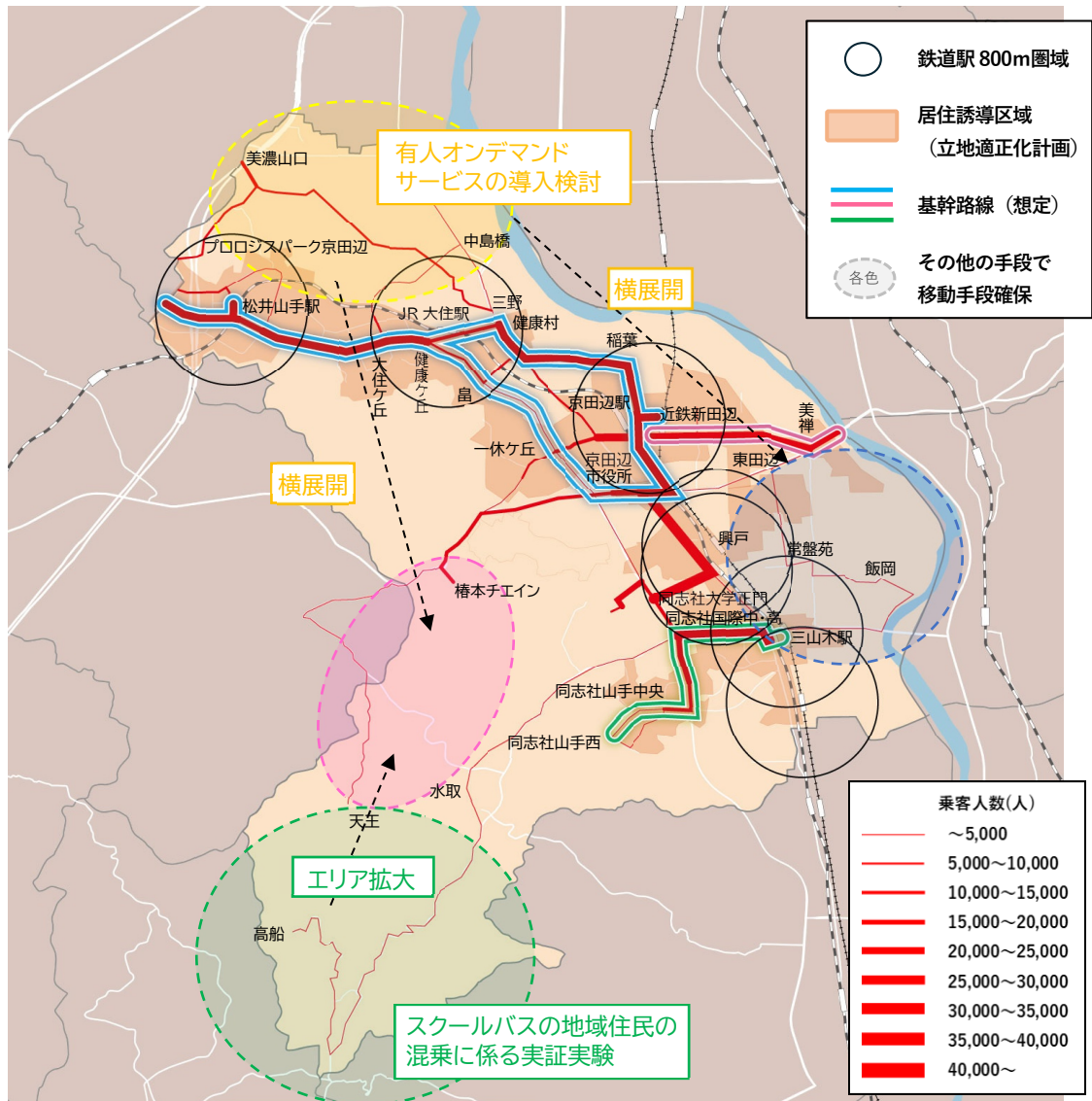


- 広域幹線軸：（鉄道・急行バス・空港リムジンバス）**  
市内拠点や周辺都市を結ぶ広域移動の主軸
- 市内基幹軸：（路線バス）**  
市内の主要拠点や居住誘導区域をカバーする  
市民生活を支える基幹となる路線
- 市内準幹軸：（バス・タクシー）**  
居住誘導区域外の拠点や集落から主要拠点を結ぶ  
基幹軸を補完する路線
- 地域内交通：（その他）**  
集落と各軸を結ぶ日常生活に必要な移動を支える交通

図 将来交通体系イメージ

## 2.2 京田辺市における将来の公共交通の考え方

本市では、“多くの利用が見込まれる”“居住誘導区域のサービスレベルを維持”に基づき、基幹路線として路線バスを維持します。その他のエリアについては、今後路線バスの維持が難しくなる可能性が高いことから、新たなモビリティも念頭に、多様なサービスにより移動手段を確保します。令和7年（2025年）11月から実施しているAI オンデマンド交通については、路線バスの状況を見極めながら導入地域を検討します。



※バス乗車人数は各社 IC データ（令和6年4月～6月）

図 将来の公共交通の考え方

## 2.3 地域交通の位置づけと役割

本計画を策定する上で、市内の公共交通モードの位置づけと役割を整理しました。

表 地域交通の位置づけと役割

位置づけ	対象路線		役割・機能・考え方
広域幹線軸	鉄道（JR片町線・近鉄京都線） バス（急行バス・空港リムジンバス）		本市と周辺都市などを連絡する広域移動の主軸を担い、通勤・通学や日常生活、観光等の多様な移動を支える
市内基幹軸	京阪バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松井山手駅-樟葉駅</li> <li>・（京田辺市役所）松井山手駅-ソフィアモール</li> <li>・新田辺-樟葉駅</li> <li>・新田辺-松井山手駅</li> </ul>	市内の主要拠点や居住誘導区域をカバーする市民生活を支える基幹となる路線
	京都京阪バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄新田辺-宇治田原町方面</li> </ul>	
	奈良交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三山木-同志社山手</li> </ul>	
市内準幹軸	京阪バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（京田辺市役所）近鉄新田辺-石清水八幡宮駅</li> <li>・三野-池嶋-石清水八幡宮駅</li> <li>・近鉄新田辺-穂谷-長尾駅</li> <li>・新田辺-茂ヶ谷-天王</li> <li>・天王-穂谷-津田駅-枚方市駅南口</li> <li>・椿本チエイン-JR京田辺</li> </ul>	居住誘導区域外の拠点や集落から主要拠点を結ぶ市内基幹軸を補完する路線
	奈良交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三山木駅-水取-高船</li> <li>・三山木駅-同志社大</li> <li>・三山木駅-同志社山手-同志社大</li> <li>・新田辺駅-同志社大</li> <li>・東部循環（三山木駅-新田辺駅）</li> </ul>	
地域内交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス</li> <li>・オンデマンド交通</li> </ul>		集落と各軸を結び日常生活に必要な移動を支える交通